

市民防災イベント（赤平市）と連携した水防災教育の実施

水防災教育の実施概要

- 実施日：平成29年9月5日（火）
- 場 所：北海道赤平市水防拠点
- 参加者：赤平中学校児童
1年生 50名
- 内 容：「水の災害について学ぶ」と題した防災教育を実施



石狩川下流域に位置する赤平市では、毎年防災週間にあわせて「安全の駅※」防災の日イベントとして、市民防災体験会が開催されています。

このイベントの一環として、札幌開発建設部空知川河川事務所では、隣接する赤平水防拠点の資材倉庫を利用して、赤平中学校の生徒を対象に防災教育を行いました。

水害や洪水の事例として、平成28年8月洪水の空知川の堤防決壊や災害復旧工事も含め堤防や樋門、ダムの仕組み、役割などについて学習をしました。

※「安全の駅」：平成20年に、民間の建設会社がガソリンスタンドの跡地を利用して設置した施設で、AEDやパトロールカーが配置されており、地域の防災の拠点や各種イベントに活用されている。

水防災教育の様子（水防拠点資材倉庫）

事務所による空知川（南富良野町）の堤防決壊、災害復旧工事の状況などを説明



「安全の駅」で行われた市民防災体験会の様子



◆石狩川下流域では、氾濫が発生することを前提として社会全体に備える「水防災意識社会」の再構築に取り組んでいます。

（参考）札幌開発建設部HP：http://www.hkd.mlit.go.jp/sp/kasen_keikaku/kluhh400000066zp.html

自然災害から命を守るためには、幼少期からの防災教育が重要であり、災害対応の実務を担う札幌開発建設部では、教育現場における防災教育の支援を行っています。